

極楽寺旧境内遺跡

F 地区

(鎌倉市No.291遺跡)

調査期間 20070417～20070502

所在地 鎌倉市極楽寺 2 丁目
11 他

時代 中世



作成日:20071010

概要

鎌倉市では、神奈川県藤沢土木事務所による急傾斜地崩壊対策工事に伴う発掘調査が行われており、工事中発見のやぐらなども含め、一年のうちに多くの遺跡の調査が行われています。

遺跡は極楽寺の東約 200mに位置し、やぐらの南側は西方寺があったと言われています。西方寺については、詳しいことはよく分かっていませんが、極楽寺伽藍古図の右下に西方寺がみえ、極楽寺の支院であったと考えられます。

やぐらは玄室床面が $4.45 \times 4.55\text{m}$ の方形で、標高はおよそ 27.9m です。床面からは炭化物が多く出土し、床面には主軸方向に4条の溝が掘られていました。

玄門のピットは平面方形状の穴と、スロープとなる溝が連続した形で、その結合部ではピット部分の底面が一段下がる構造となっていました。ピットには赤色の鎌倉石が立位にて設えられ、覆土中からは金銅製の釘隠が出土しています。



▲やぐら全景



▲やぐら玄門